

一 (小計52点)

問一 (8点) 美楽は木工に一生けんめいに取り組んでいるので、ここであきらめずにがんばってほしいとはげましたかったから。

問二 (10点) 家に電話しようとする父をひきとめて、優美に落ち着かせる時間をあたえようと優美を気づかっている。

問三 (10点) たたかれた自分の頭が固いと言いつつも、優美の父親が子どもに対する理解が足りない頑固な人だと皮肉を言っている。

問四 (16点) 家を飛び出した時の優美は、自分の親に将来を決められたことへ反発し、思い通りに出来ないことを悲しんでいる。

問五 (8点) たが、紙片を書いた時は自分の置かれた状況を受け入れつつも大きく成長していこうと決意している。

問五 (8点) 自分の大好きな木工で「星になりたい」という優美を応援していることを伝え、喜ばせたいと思う気持ち。

二 (小計38点)

問一 (10点) 自分自身のためであると同時に、勉強して何かを受け継ぎ、伝えることは、社会のためにも必要だということ。

問二 (10点) 自分のしていることに意味を見出すことができれば、意欲が生まれるということ。

問三 (18点) 本を読むことによつて、いまの子どもたちも、実体験ではつかみにくい全体像を見渡し、自分が生きている社会

がさまざまな世代や立場の人に支えられていることが理解でき、「伝える」ことの大切さを実感できるとい意味がある。

三 (小計10点)

- (2点×5) (1) 専 (2) 異色 (3) 諸説 (4) 難解 (5) 起源

問題本文は、著作権の関係で本日は配布しません。
なお、出典は次の通りです。

一 濱野京子『木工少女』

二 協明子『読む力は生きる力』